

Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展 第2期

全3期にわたる企画展「インター + プレイ」第2期では、当館常設展示作家の一人で、多分野を横断するプロジェクトを世界各地で展開するトマス・サラセーノの作品をご覧ください。

展示は企画展示室を全て使用し、インスタレーション（空間展示）やドローイング（素描）、映像などさまざまな手法による作品で構成します。

本展は、生物の多様性や大気・水といった生物にとって必要不可欠である身近な物質に焦点を当てることにより、私たちの暮らしと自然環境との関係を見つめ直すことを促します。

鈴木康広《はじまりの果実》、目 [mé] 《space》は第1期に引き続き展示し、問題行動トリオによるパフォーマンスも開催します。



トマス・サラセーノ
《クモのオラクルカード》
Photo: Studio Tomás Saraceno.
画像提供: 作家、Arachnophilia



トマス・サラセーノ
© Alfred Weidinger, 2015

会期（第2期） 9月18日(土)～令和4年1月10日(月)
開館時間 午前9時～午後5時（入場は閉館の30分前まで）
休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月27日(月)～1月1日(土)）
企画展観覧料 一般800円 ※高校生以下は無料です。

第2期出展作家…トマス・サラセーノ

1973年トゥクマン（アルゼンチン）生まれ。ベルリン（ドイツ）在住。
芸術、生命科学、社会科学などさまざまな分野の知見に基づき制作を行う。宙に浮く彫刻やコミュニティ・プロジェクト、鑑賞者が内部で過ごすことができる作品を通して、サステナブル（持続可能）な新しい生き方や、自然環境への向き合い方を鑑賞者に問いかける。

問題行動トリオパフォーマンス

ダンサーと音楽家による「問題行動トリオ」。8月は、夜の美術館で作品や空間、そして、そこにはいない誰かとダンスや音楽で触れるパフォーマンスを繰り広げました。9月は、十和田のまちに出てパフォーマンスを行います。

— 問題行動トリオ —

とき 9月25日(土)、26日(日) 午後2時～4時

ところ 現代美術館周辺

定員 両日15人程度（先着順）

※事前に申し込み（電話、FAX、メールのいずれか）が必要です。

※参加には、企画展のチケットが必要となります。

※各回のイベントは同じ内容となります。

※詳しくは、現代美術館ホームページをご確認ください。



▲現代美術館ホームページQRコード



野村 誠



佐久間 新
〈photo: 草本利枝〉



じゃれお おさむ
砂連尾 理
〈photo: 三浦博之〉

9月10日(金)は現代美術館常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、免許証や保険証など住所が確認できるものを受付に提示ください。

また、市民無料デーに合わせて、学芸員が常設展示作品をピックアップして解説します。ぜひご参加ください。

《学芸員による解説》 とき: 午前11時～正午 定員: 10人（事前予約制・先着順）